



第29回

全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 函館・北海道

～五稜星の街★北の大地から
共生社会の架け橋をつなげよう～

大会要項・申込要項

要約筆記
手話通訳
あり

【開催期間】

2025年11月1日（土）～2日（日）

【会場 11月1日（土）】

◆分科会 13:00～16:00

第1分科会

★函館市市民会館

（函館市湯川町1丁目32-1）

第2・3分科会

★函館アリーナ

（函館市湯川町1丁目32-2）

第4分科会

★旧五稜郭支援学校体育館

（函館市五稜郭町39）

◆懇親会 18:30～20:30

★ホテル法華クラブ函館（函館市本町27-1）

【会場 11月2日（日）】

◆全体会 9:30～15:00

記念式典・講演・アトラクションなど

★函館市市民会館 小ホール

※大会終了後の観光オプションツアーはありませんので
ご了承ください。皆さま、自由に観光ご散策ください。

ごあいさつ

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より中途失聴者・難聴者の福祉向上を目指して様々な活動をされておられますことに心より感謝申し上げます。

この度、2025年11月1日(土)～2日(日)の2日間、北海道・函館の地で「第29回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 函館・北海道」を開催いたします。

今大会のご参加・ご宿泊等のお申込み受付は、(株)日本旅行北海道函館支店様にお願いしております。

11月の函館の透明感溢れる季節のもと、皆様にお会いして多くの事を共有し、学び、ふれあえる、そのような大会にしたいと思っております。

皆様のご参加を実行委員一同、心よりお待ちしております。

第29回全国中途失聴者・難聴者福祉大会

in 函館・北海道実行委員会

実行委員長 吉田 次寿



大会スケジュール

【大会期間】 2025年11月1日（土）～2日（日）

【開催場所】 函館市市民会館、函館アリーナ、旧五稜郭支援学校体育館

【1日目】 11月1日（土）

時間	内容	会場
12:30～13:00	受付（各分科会会場にて）	
13:00～16:30	第1分科会：情報文化部 「補聴援助で見てきた未来」 ～音声認識、万博、Auracast、窓ロバリアフリー～	函館市市民会館 大会議室 (管理棟3階)
	第2分科会：手話対策部 「中途失聴・難聴者の手話学習の場を確立しよう」	函館アリーナ 多目的会議室A (サブアリーナ)
	第3分科会： 書籍“音から隔てられて”第2弾発行プロジェクトチーム 「“音から隔てられて”刊行から50年」 ～先人たちの思いと私たちの未来～	函館アリーナ 多目的会議室B (サブアリーナ)
	第4分科会：函館・北海道実行委員会 「いま話題のニュー・スポーツ！ “モルック”をやってみませんか？！」	旧五稜郭支援学校 体育館
18:00～18:30	懇親会受付（2階 宴会場ロビーにて）	ホテル法華クラブ函館
18:30～20:30	懇親会 アトラクション：函館鮮士「イカダベッサー」登場！	

【2日目】 11月2日（日）

9:00～9:30	受付	函館市市民会館 小ホール
9:40～10:50	記念式典 挨拶、祝辞、表彰状・感謝状授与、大会決議等	
11:00～12:30	全体会（記念講演） テーマ「地域密着プロレスを通しての社会貢献」（仮称） 講師：道南リング代表 プロレスラー・カツオ氏 (函館観光大使)	
12:30～13:30	昼食休憩	小ホール及び大会議室
13:30～14:00	アトラクション 「音がなくても、驚きと感動は伝わる」 体験型マジック・イリュージョンショー マジシャン 高野大吾氏	函館市市民会館 小ホール
14:10～14:50	引継ぎ式、閉会セレモニー	

第Ⅰ分科会 情報文化部

『補聴援助機器で見てきた未来』

～ 音声認識、万博、Auracast、窓口バリアフリー ～

11月1日（土）13:00～16:30

会場：函館市市民会館 大ホール

講師：東京工科大学メディア学部 吉岡英樹氏

発表者：小川光彦、渡部安世（座長兼任）

<内容>

音声認識という、新たな補聴援助手段を手に入れた私たち。

明治以降、開港地として西洋文化の強い影響を受けてきたここ函館で、現在補聴援助がどこまで進んでいるのか、個々にどんなことが可能なのかを知り、どんな未来が待っているのかを、一緒に体験・予想してみませんか。

1. 窓口バリアフリーの進展 発表者：小川
2. 大阪万博のアクセシビリティ報告 発表者：渡部
3. Auracast（※）調査報告及び疑似体験 発表者：吉岡講師
4. 質疑応答

※Auracast（オーラキャスト）とは

無線通信のBluetooth（ブルートゥース）技術の一つで、1つの音声を複数のデバイスに同時に配信できる機能です。このシステムが今後普及の可能性が高いと見られています。

例えば、駅や空港の案内放送を自分の補聴器で聞いたり、映画や舞台の音響を楽しんだりすることが可能になります。

第2分科会 手話対策部

『中途失聴・難聴者の手話学習の場を確立しよう』

11月1日（土）13:00～16:30

会場：函館アリーナ 多目的会議室A

講師：（調整中）

発表者：（調整中）

<内容>

1. 手話学習先進地域の実践例から学ぶ
2. 手話施策推進法について知ろう
3. 上記2つのテーマについて、講師と参加者によるディスカッション

※詳細が決まり次第、案内資料の差し替え・広報チラシ等でお知らせしていきます。



第3分科会

書籍「音から隔てられて」

第2弾刊行プロジェクトチーム

『「音から隔てられて」刊行から50年』

～ 先人たちの思いと私たちの未来 ～

11月1日（土）13:00～16:30

会場：函館アリーナ 多目的会議室B

発表者：

山口武彦氏(元全難聴 副理事長 長岡京市中失・難協)

森俊己氏(公益社団法人 岡山県難聴者協会会長)

下出隆史氏(非営利活動法人全国要約筆記問題研究会 監事)

長尾康子氏(全国要約筆記問題研究会 理事長)

新谷友良氏(全難聴 監事)

宿谷辰夫氏(全難聴 理事長)

宇田川芳江氏(全難聴 事務局長)

★当日は一部、動画・オンラインでの発表があります

進行：湯浅はるみ氏(全難聴 常務理事)

司会：藤谷弘晃氏(全難聴 常務理事)

<内容>

第1部：「音から隔てられて」の紹介と刊行された時代を考える

①50年前に執筆した先輩たちへのインタビュー

②「音から隔てられて」に影響を受けた人たちのその後

第2部：要約筆記者養成テキストに「音から隔てられて」を取り上げた理由とその意義

①養成テキスト第2章前半の執筆者の思いや願い

②絶版「立ちあがる難聴者」とは

第3部：50年を経た今年、第2弾「難聴を生きる」を発刊

①発刊のねらいやその構成

②令和を生きる難聴者の思い

第4分科会

函館・北海道実行委員会

『いま話題のニュー・スポーツ！

「モルック」をやってみませんか？！』

11月1日（土）13:00～16:30

会場：旧・五稜郭支援学校体育館

司会進行（メイン）：吉野弘規（全難聴 青年部長）

司会進行（サブ）：永井慎吾（全難聴 福祉大会担当理事）

ゲーム説明・進行補助：「函館モルックの会」の皆様

<PR>

フィンランド発祥。年齢や性別、運動神経や体力有無にかかわらず楽しめます。走ったり跳んだりすることも無し！難しいルールや技術も必要なく、すぐにできます。その割に、戦略性やチーム内連携など奥深さもあり。地域交流にも活用され、広がりつつあるニュー・スポーツです。

2024年には函館で世界大会も開催され、某お笑い芸人さんも参加しました。

経験者も未経験者もモルックで地域間交流しましょう！

【分科会の流れ】

- ・「ご当地？！準備体操」
- ・「モルック」ルール説明
- ・チーム分け、練習
- ・対戦形式でゲーム



【参考】

- ・日本モルック協会公式「モルック説明動画（字幕付き）」

<https://www.youtube.com/watch?v=SHFeX6nzG5A>

動画QRコード



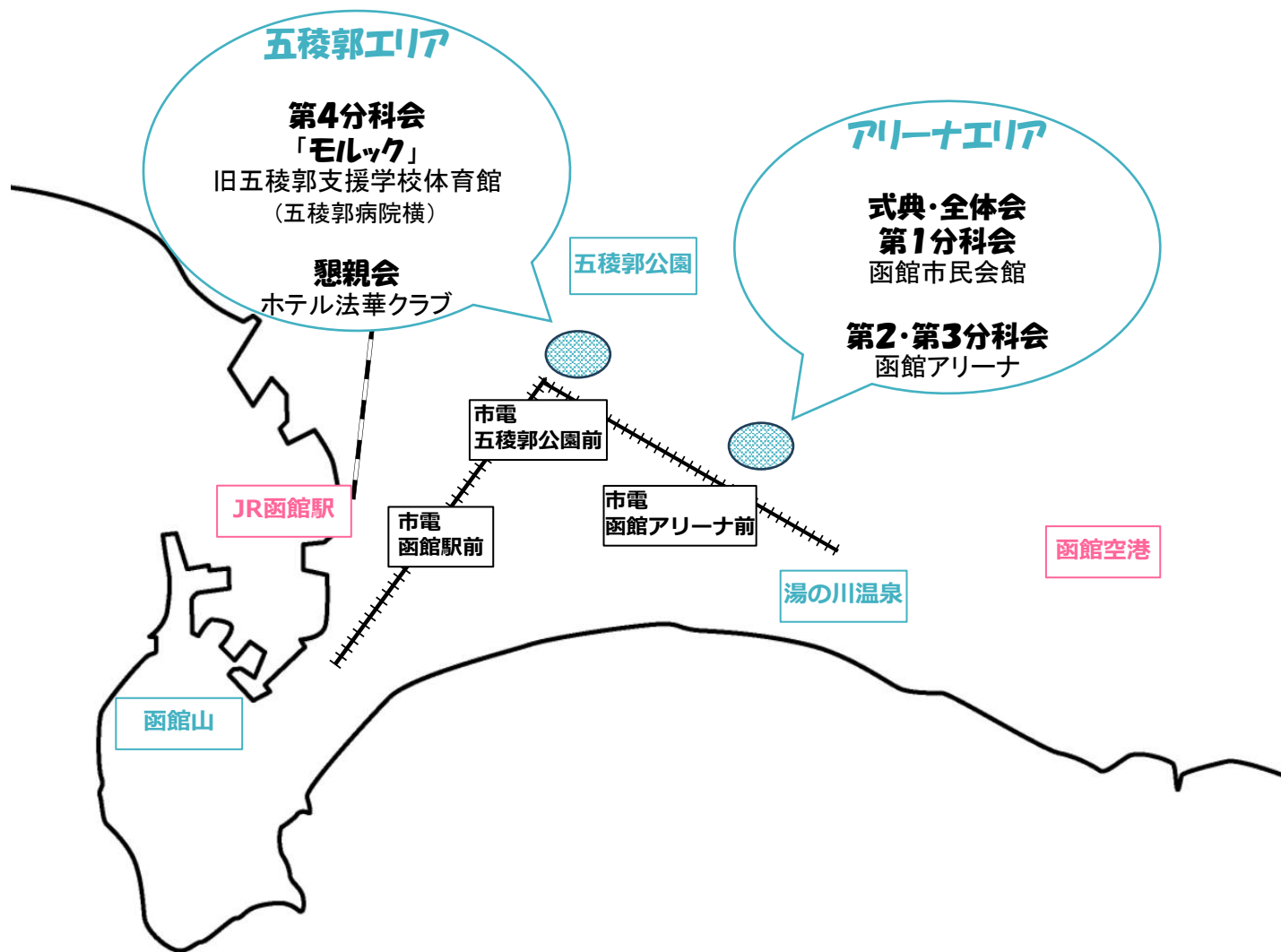
- ・（一社）日本モルック協会公式サイト

<https://molkky.jp/> サイトQRコード

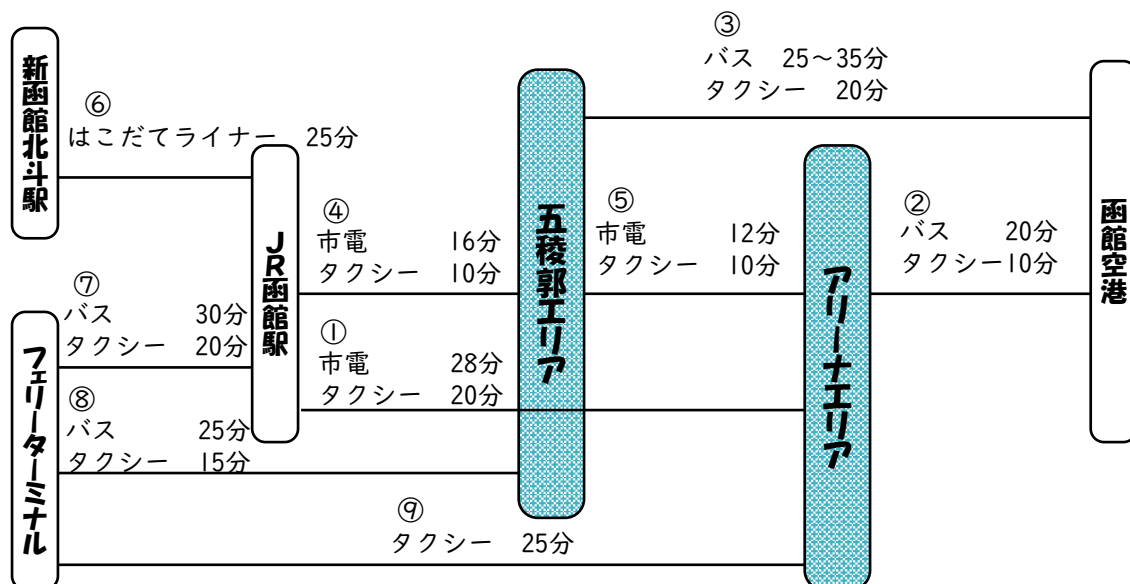


【会場案内】

会場は市内2つのエリア(五稜郭エリア・アリーナエリア)に分かれており
ともに市電沿線となっています。

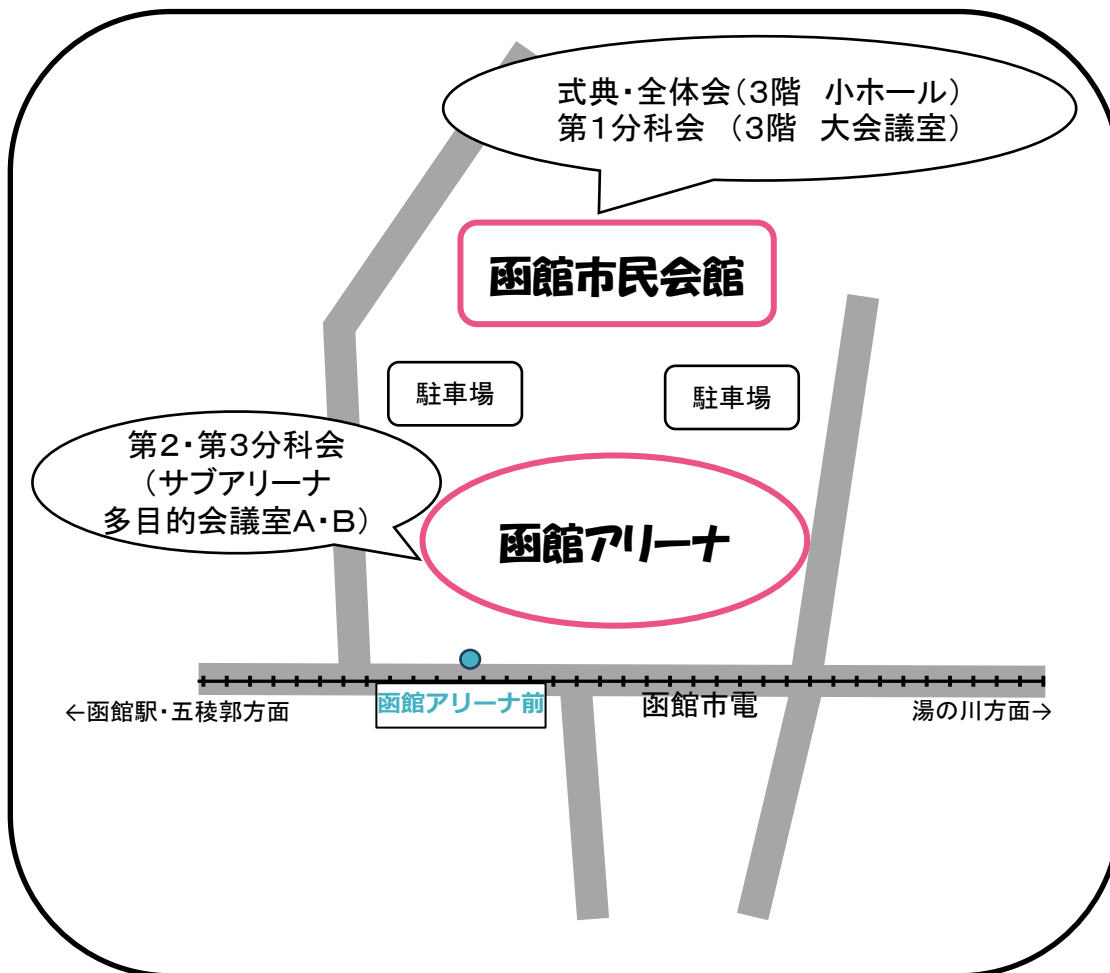


主な交通アクセス



※JR線(はこだてライナーを含む)をご利用の方は
終点「函館駅」までご乗車ください

【アリーナエリア 周辺図】



アリーナエリア詳細地図



【交通アクセス】

※①～⑨は **主な交通アクセス** に記載の番号です。

※各経路の所要時間およびタクシー利用については **主な交通アクセス** をご参照ください。

○JR函館駅から

- ・市電を利用 ①
市電 湯の川行き 「函館アリーナ前」下車

○函館空港から

- ・バスを利用 ②
函館バス7系統(1番のりば) 「函館アリーナ前」下車

○新函館北斗駅(新幹線)から

- ・はこだてライナー ⑥ → 市電 ①
はこだてライナー 「函館駅」下車
市電 湯の川行き 「函館アリーナ前」下車

○フェリーターミナルから

- ・バス ⑧ → 市電 ⑤
函館バス16系統・16A系統「日吉営業所行き」「五稜郭(3)ミスタードーナツ横」下車
市電 湯の川行き 「函館アリーナ前」下車

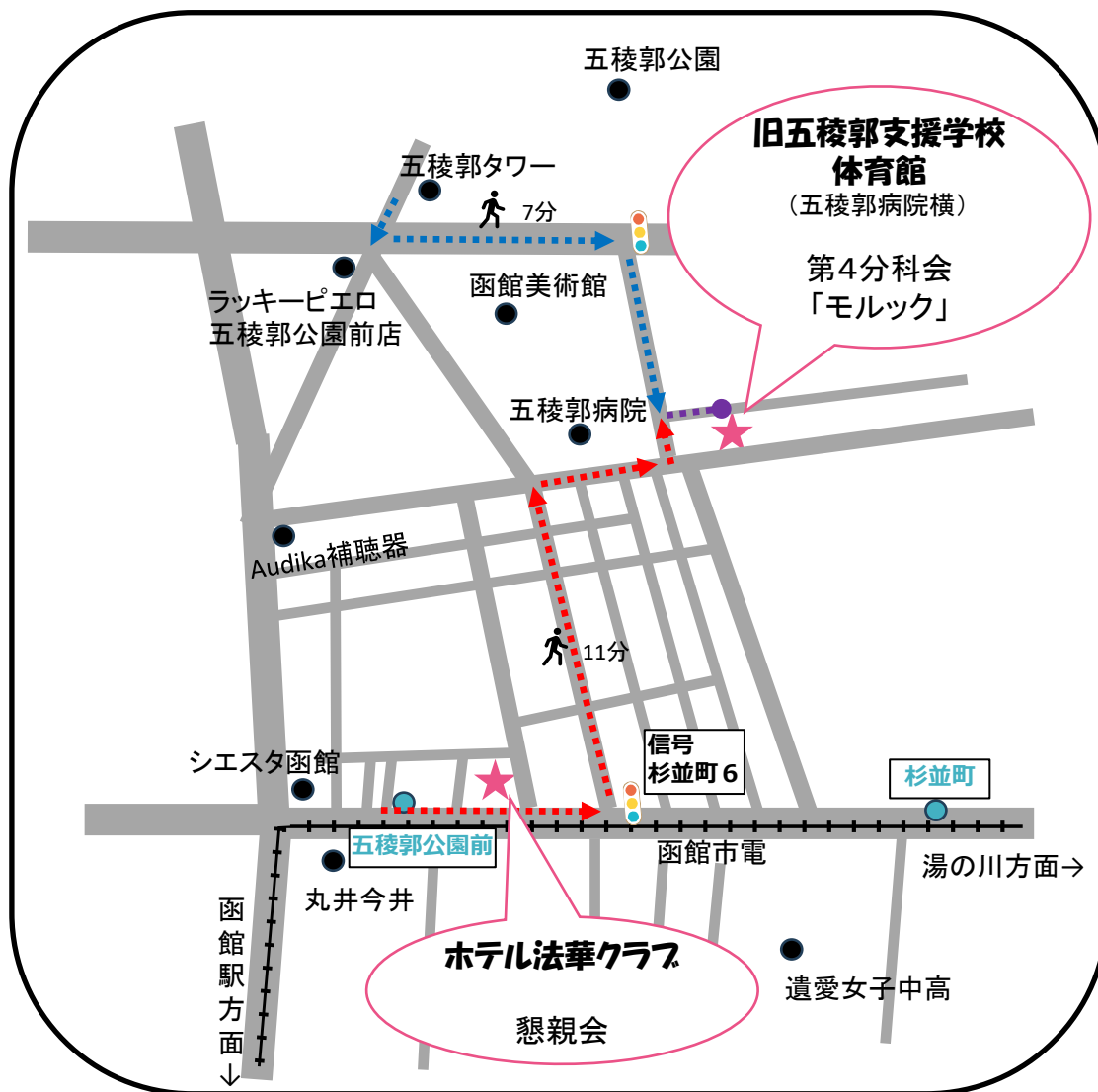
- ・シャトルバス ⑦ → 市電 ①
シャトルバス「函館駅前」下車
市電 湯の川行き 「函館アリーナ前」下車

※分科会終了後 アリーナエリアから懇親会会場への移動

市電を利用する場合 ⑤

市電 谷地頭行き・函館どつく行き 「五稜郭公園前」下車

【五稜郭エリア 周辺図】



五稜郭エリア詳細地図



第4分科会会場までの
経路付き詳細地図
(電停から)



第4分科会会場までの
経路付き詳細地図
(タワーから)



※経路付きは
地図に示した経路と
異なる場合が
あります。

【交通アクセス】

※①～⑨は **主な交通アクセス** に記載の番号です。

※各経路の所要時間およびタクシー利用については **主な交通アクセス** をご参照ください。

○JR函館駅から

- ・市電を利用 ④
市電 湯の川行き 「五稜郭公園前」下車

○函館空港から

- ・バスを利用 ③
函館バス7系統(1番のりば) 「五稜郭」または「五稜郭公園入口」下車
函館バス5系統(2番のりば) 「五稜郭タワー前」下車

○新函館北斗駅(新幹線)から

- ・はこだてライナー ⑥ → 市電 ④
はこだてライナー 「函館駅」下車
市電 湯の川行き 「五稜郭公園前」下車

○フェリーターミナルから

- ・バスを利用 ⑧
函館バス16系統・16A系統「日吉営業所行き」「五稜郭(3)ミスタードーナツ横」下車

- ・シャトルバス ⑦ → 市電 ④
シャトルバス「函館駅前」下車
市電 湯の川行き 「五稜郭公園前」下車